

## News Release

2024年2月15日  
株式会社プロテリアル国内最大級<sup>注1</sup>の自家消費型太陽光発電設備が本格稼働を開始

株式会社プロテリアル（以下、プロテリアル）は、当社熊谷磁材工場・グローバル技術革新センターを中心とする熊谷地区において、敷地内の自家消費型太陽光発電設備としては国内最大級の規模となる太陽電池モジュール総出力約 10MW（メガワット）の太陽光発電設備を導入し、2024年2月1日に本格稼働を開始しました。同設備で発電する電力量約 1,150 万 kWh/年は、全て同地区内で消費する予定で使用電力の約 10%に相当<sup>注2</sup>する見込みです。また、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減量は 5,100 トン/年となります。

プロテリアルグループでは再生可能エネルギーの利用拡大を進め、2022年度の約 48 万 kWh/年（483MWh/年）から 2030年度には約 70 倍の 3,500 万 kWh/年（35,000MWh/年）超えをめざしております。本案件はその中心施策となるものです。プロテリアルは、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進により自社事業での CO<sub>2</sub> 排出量削減に取り組むことに加え、気候変動問題に資する先進的な製品（環境親和型製品）を開発、提供することで、グリーン・イネーブラーとして脱炭素社会実現に貢献していきます。



写真：熊谷地区に導入された国内最大級の自家消費型太陽光発電設備

## 概要

設置場所	株式会社プロテリアル 熊谷地区（埼玉県熊谷市）
設計・施工	シャープエネルギーソリューション株式会社
太陽電池モジュール総出力	9,705kW（約 10MW）
想定年間発電電力量 <sup>注3</sup>	1,150 万 kWh（初年度）

## 株式会社プロテリアル

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 豊洲プライムスクエア

[www.proterial.com](http://www.proterial.com)

当社グループでは、脱炭素社会実現への貢献を重要な経営課題（マテリアリティ）に位置付けております。自社事業に伴う CO<sub>2</sub> 排出量については、中期目標として 2030 年度 38%削減（2015 年度対比）、長期目標として 2050 年カーボンニュートラル実現をめざし、脱炭素社会への移行に貢献していく考えです。このため、再生可能エネルギーの導入拡大と省エネルギーの推進に取り組んでおります。

本案件は、太陽光発電の TPO/PPA モデル（第三者所有モデルによる電力購入契約：Third Party Ownership/Power Purchase Agreement）を活用し、事業所内の自社所有地を利用することで効率的な再生可能エネルギー導入をめざしたものです。TPO/PPA モデルは、施設所有者が提供する敷地や屋根などのスペースに、太陽光発電設備の所有・管理を行う会社（電力販売契約事業者）が設置した太陽光発電システムで発電された電力を、その施設の電力使用者（施設所有者）へ有償提供する仕組みであり、施設所有者（当社）にとっては太陽光発電をオフバランス<sup>注4</sup>化しリスク低減を図りつつ、大規模な再生可能エネルギー導入を可能にできるメリットがあります。これに加えて、熊谷市は全国的に見ても日照時間が長く太陽光発電に適しているうえ、敷地内の遊休地・グラウンドなどの障害物の少ない自社所有地約 9 万㎡を活用することによって、大規模かつ高効率の太陽光発電設備導入が可能となります。

当社グループでは、熊谷地区以外の真岡工場を中心とする真岡地区でも 2023 年 4 月に TPO/PPA モデルによる太陽光発電の稼働（初年度想定年間発電電力量：約 250 万 kWh/年）を開始するなど、再生可能エネルギー導入の全体計画に基づき各拠点において導入を進めております。

以上

注1：当社調べ。2024 年 1 月末日までに稼働した敷地内の自家消費型太陽光発電設備としては国内最大級の規模。

注2：稼働開始時点の比率。

注3：電力販売契約事業者の想定条件に基づく。

注4：貸借対照表（バランスシート）に資産として計上しないこと。

【報道機関からのお問い合わせ】 コミュニケーション部 担当 南 TEL 090-1043-4934

## ■プロテリアル(PROTERIAL)について

# PROTERIAL

プロテリアル（PROTERIAL）は、当社の企業理念を構成する Mission 「質の量産」、Vision 「持続可能な社会を支える高機能材料会社」、Values 「至誠」「鯨則彊（和すれば強し）」のエッセンスを反映しており、“PRO” + “MATERIAL” から作られています。PRO が表すのは **Professional（専門的な）、Progressive（革新的な）、Proactive（主体的な）** の 3 つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。MATERIAL はこれら 3 つの PRO に支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

当社グループはその製品と想いに根ざしたサービスを通じてお客さまの課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。

## ■株式会社プロテリアル 会社概要

設立：1956 年 4 月

本社：〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 豊洲プライムスクエア

資本金：310 百万円(2023 年 3 月 31 日現在)

代表者：代表取締役 会長執行役員 兼 社長執行役員 CEO（最高経営責任者）

Sean M. Stack（ショーン・スタック）

売上収益：1 兆 1,189 億円(2023 年 3 月期)

沿革：1910 年 戸畑鋳物株式会社として創業

1937 年 株式会社日立製作所と合併

1956 年 日立金属工業株式会社として分立

2023 年 日立グループから離脱し、商号を日立金属株式会社から株式会社プロテリアルに変更

## 株式会社プロテリアル

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-36 豊洲プライムスクエア

[www.proterial.com](http://www.proterial.com)